

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年9月9日(2021.9.9)

【公開番号】特開2020-25849(P2020-25849A)

【公開日】令和2年2月20日(2020.2.20)

【年通号数】公開・登録公報2020-007

【出願番号】特願2019-13002(P2019-13002)

【国際特許分類】

A 6 1 B 10/00 (2006.01)

A 6 1 B 3/113 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 10/00 H

A 6 1 B 3/10 B

【手続補正書】

【提出日】令和3年7月9日(2021.7.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表示画面と、

前記表示画面を観察する被験者の注視点の位置を検出する注視点検出部と、

被験者に対する設問となる設問情報を前記表示画面に表示する第1表示動作と、前記被験者の注視点を目標位置に誘導する誘導対象物を前記表示画面に表示する第2表示動作と、前記第2表示動作の後に前記設問に対する回答となる複数の回答対象物を、前記目標位置と重ならない位置に配置して表示する第3表示動作と、を含む表示動作を行う表示制御部と、

複数の前記回答対象物のうち特定対象物に対応した特定領域と、前記特定対象物とは異なる比較対象物に対応した比較領域とを設定する領域設定部と、

前記注視点の位置に基づいて、前記第3表示動作が行われる表示期間に前記注視点が前記特定領域及び前記比較領域に存在するか否かの判定を行う判定部と、

前記判定部における判定結果に基づいて、前記表示期間における注視点データを算出する演算部と、

前記注視点データに基づいて、前記被験者の評価データを求める評価部と
を備え、

前記判定部は、前記注視点の位置に基づいて、前記第2表示動作の後に前記注視点が前記目標位置を含む所定領域に存在するか否かを検出し、存在する場合に判定を行い、存在しない場合に前記第1表示動作以降を繰り返す評価装置。

【請求項2】

表示画面と、

前記表示画面を観察する被験者の注視点の位置を検出する注視点検出部と、

被験者に対する設問となる設問情報を前記表示画面に表示する第1表示動作と、前記被験者の注視点を目標位置に誘導する誘導対象物を前記表示画面に表示する第2表示動作と、前記第2表示動作の後に、前記被験者の注視点を検出して、前記設問に対する回答となる複数の回答対象物を前記第2表示動作終了時における前記被験者の注視点と重ならない位置に配置して表示する第3表示動作と、を含む表示動作を行う表示制御部と、

複数の前記回答対象物のうち特定対象物に対応した特定領域と、前記特定対象物とは異なる比較対象物に対応した比較領域とを設定する領域設定部と、

前記注視点の位置に基づいて、前記第3表示動作が行われる表示期間に前記注視点が前記特定領域及び前記比較領域に存在するか否かの判定を行う判定部と、

前記判定部における判定結果に基づいて、前記表示期間における注視点データを算出する演算部と、

前記注視点データに基づいて、前記被験者の評価データを求める評価部と
を備える評価装置。

【請求項3】

表示画面と、

前記表示画面を観察する被験者の注視点の位置を検出する注視点検出部と、

被験者に対する設問となる設問情報を前記表示画面に表示する第1表示動作と、前記被験者の注視点を目標位置に誘導する誘導対象物を前記表示画面に表示する第2表示動作と、前記第2表示動作の後に前記設問に対する回答となる複数の回答対象物を、前記目標位置と重ならない位置に配置して表示する第3表示動作と、を含む表示動作を行う表示制御部と、

複数の前記回答対象物のうち特定対象物に対応した特定領域と、前記特定対象物とは異なる比較対象物に対応した比較領域とを設定する領域設定部と、

前記注視点の位置に基づいて、前記第3表示動作が行われる表示期間に前記注視点が前記特定領域及び前記比較領域に存在するか否かの判定を行う判定部と、

前記判定部における判定結果に基づいて、前記表示期間における注視点データを算出する演算部と、

前記注視点データに基づいて、前記被験者の評価データを求める評価部と
を備え、

前記第2表示動作は、前記第1表示動作において表示した設問情報の少なくとも一部を前記目標位置に向けて縮小させる動作である評価装置。

【請求項4】

表示画面に画像を表示することと、

前記表示画面を観察する被験者の注視点の位置を検出することと、

被験者に対する設問となる設問情報を前記表示画面に表示する第1表示動作と、前記被験者の注視点を目標位置に誘導する誘導対象物を前記表示画面に表示する第2表示動作と、前記第2表示動作の後に前記設問に対する回答となる複数の回答対象物を、前記目標位置と重ならない位置に配置して表示する第3表示動作と、を含む表示動作を行うことと、

複数の前記回答対象物のうち特定対象物に対応した特定領域と、前記特定対象物とは異なる比較対象物に対応した比較領域とを設定することと、

前記注視点の位置に基づいて、前記第3表示動作が行われる表示期間に前記注視点が前記特定領域及び前記比較領域に存在するか否かの判定を行うことと、

判定結果に基づいて、前記表示期間における注視点データを算出することと、

前記注視点データに基づいて、前記被験者の評価データを求めることと
を含み、

前記注視点の位置に基づいて、前記第2表示動作の後に前記注視点が前記目標位置を含む所定領域に存在するか否かを検出し、存在する場合に判定を行い、存在しない場合に前記第1表示動作以降を繰り返す評価方法。

【請求項5】

表示画面に画像を表示する処理と、

前記表示画面を観察する被験者の注視点の位置を検出する処理と、

被験者に対する設問となる設問情報を前記表示画面に表示する第1表示動作と、前記被験者の注視点を目標位置に誘導する誘導対象物を前記表示画面に表示する第2表示動作と、前記第2表示動作の後に前記設問に対する回答となる複数の回答対象物を、前記目標位置と重ならない位置に配置して表示する第3表示動作と、を含む表示動作を行う処理と、

複数の前記回答対象物のうち特定対象物に対応した特定領域と、前記特定対象物とは異なる比較対象物に対応した比較領域とを設定する処理と、

前記注視点の位置に基づいて、前記第3表示動作が行われる表示期間に前記注視点が前記特定領域及び前記比較領域に存在するか否かの判定を行う処理と、

判定結果に基づいて、前記表示期間における注視点データを算出する処理と、

前記注視点データに基づいて、前記被験者の評価データを求める処理と、

前記注視点の位置に基づいて、前記第2表示動作の後に前記注視点が前記目標位置を含む所定領域に存在するか否かを検出し、存在する場合に判定を行い、存在しない場合に前記第1表示動作以降を繰り返す処理と

をコンピュータに実行させる評価プログラム。

【請求項6】

表示画面と、

前記表示画面を観察する被験者の注視点の位置を検出することと、

被験者に対する設問となる設問情報を前記表示画面に表示する第1表示動作と、前記被験者の注視点を目標位置に誘導する誘導対象物を前記表示画面に表示する第2表示動作と、前記第2表示動作の後に、前記被験者の注視点を検出して、前記設問に対する回答となる複数の回答対象物を前記第2表示動作終了時における前記被験者の注視点と重ならない位置に配置して表示する第3表示動作と、を含む表示動作を行うことと、

複数の前記回答対象物のうち特定対象物に対応した特定領域と、前記特定対象物とは異なる比較対象物に対応した比較領域とを設定することと、

前記注視点の位置に基づいて、前記第3表示動作が行われる表示期間に前記注視点が前記特定領域及び前記比較領域に存在するか否かの判定を行うことと、

判定結果に基づいて、前記表示期間における注視点データを算出することと、

前記注視点データに基づいて、前記被験者の評価データを求めることと

を含む評価方法。

【請求項7】

表示画面と、

前記表示画面を観察する被験者の注視点の位置を検出する処理と、

被験者に対する設問となる設問情報を前記表示画面に表示する第1表示動作と、前記被験者の注視点を目標位置に誘導する誘導対象物を前記表示画面に表示する第2表示動作と、前記第2表示動作の後に、前記被験者の注視点を検出して、前記設問に対する回答となる複数の回答対象物を前記第2表示動作終了時における前記被験者の注視点と重ならない位置に配置して表示する第3表示動作と、を含む表示動作を行う処理と、

複数の前記回答対象物のうち特定対象物に対応した特定領域と、前記特定対象物とは異なる比較対象物に対応した比較領域とを設定する処理と、

前記注視点の位置に基づいて、前記第3表示動作が行われる表示期間に前記注視点が前記特定領域及び前記比較領域に存在するか否かの判定を行う処理と、

判定結果に基づいて、前記表示期間における注視点データを算出する処理と、

前記注視点データに基づいて、前記被験者の評価データを求める処理と

をコンピュータに実行させる評価プログラム。

【請求項8】

表示画面に画像を表示することと、

前記表示画面を観察する被験者の注視点の位置を検出することと、

被験者に対する設問となる設問情報を前記表示画面に表示する第1表示動作と、前記被験者の注視点を目標位置に誘導する誘導対象物を前記表示画面に表示する第2表示動作と、前記第2表示動作の後に前記設問に対する回答となる複数の回答対象物を、前記目標位置を中心とした同一円周上で前記目標位置と重ならない位置に配置して表示する第3表示動作と、を含む表示動作を行うことと、

複数の前記回答対象物のうち特定対象物に対応した特定領域と、前記特定対象物とは異なる比較対象物に対応した比較領域とを設定することと、

前記注視点の位置に基づいて、前記第3表示動作が行われる表示期間に前記注視点が前記特定領域及び前記比較領域に存在するか否かの判定を行うことと、

判定結果に基づいて、前記表示期間における注視点データを算出することと、

前記注視点データに基づいて、前記被験者の評価データを求めるることと

を含み、

前記第2表示動作は、前記第1表示動作において表示した設問情報の少なくとも一部を前記目標位置に向けて縮小させる動作である評価方法。